

再来年の大阪・関西万博に向けて、オランダは、パビリオンの概要を発表し、最新のデジタル技術を駆使した

ヘルスケアや再生医療などの展示を行うことを明らかにしました。

きょうは、大阪・北区のホテルで、

在大阪オランダ総領事館のマークカウパース総領事らが会見して、出展するパビリオンの概要を発表しました。

それによりますと、パビリオンは箱型の建物の中心に

「次世代への太陽」として、直径11メートルの球体を設け、持続可能なクリーンエネルギーを象徴的に表現するということです。

展示では、気候変動対策が世界的な課題となるなか、

ともに困難を乗り越えて行こうというメッセージを込めて、次世代のエネルギーとして注目される

水素を水から作り出す最新技術などを紹介する計画です。

また、西洋医学の知識が

オランダから日本に伝わった歴史を踏まえ、

最新のデジタル技術を駆使した

ヘルスケアや再生医療についても展示するということです。